

第4回多可町八千代区小学校統合準備委員会 要点記録

開催日時：平成27年5月19日（火）午後7時30分～午後9時30分

開催場所：八千代プラザ 大ホール

出席者：（地域の代表）吉田委員、小林委員、藤田委員、常見委員、工古田委員
（保護者代表）岸本委員、草譯委員、草場委員、森川委員、藤田委員、上月委員、
多方委員、櫻本委員、石川委員、尾芝委員、門脇委員、伊藤委員
（識見を有する者）柴田委員、杉山委員、細尾委員
（学校代表）高見委員、小林委員、荻野委員

欠席者：上月委員、伊藤委員

事務局：岸原教育長、谷尾学校教育課長、今中教育総務課長、藤原プロジェクト推進課長、
竹内生活安全課長、宮原教育総務課副課長、近藤学校園アドバイザー、萬浪キッズ
ランドやちよ所長、神崎指導主事、藤本学校教育課副課長、板倉地域振興課主査

傍聴者：1人

会議次第

- 1 開会
- 2 杉山委員長あいさつ
教育長あいさつ
- 3 専門部会報告
 - ① 総務部会
 - ② 通学部会
 - ③ P T A部会
 - ④ 教育・事務部会
- 4 その他
 - ① 学校前バス停、プール
 - ② 次回日程
- 5 閉会

1 開会

（事務局）

定刻になりましたので、ただ今から第4回八千代区小学校統合準備委員会を開会いたします。開会にあたりまして、八千代区小学校統合準備委員会委員長杉山様よりご挨拶をいただきます。杉山様よろしくお願いたします。

2 あいさつ

（杉山委員長）

皆さん、こんばんは。夜分お疲れのところ、第4回統合準備委員会に多数ご出席いただきありがとうございます。平素は、各専門部会において活発に審議いただき、心よりお礼を申し上げます。この春より、各小学校では子どもたちが新しい小学校の体操服を着用しております。統合準備委員会の活動もいよいよ佳境の域に入っており、本日も決めるべき項目が多

数あります。一つ一つ慎重に審議いただき、前進していきたいと思いますのでご協力の程よろしくお願ひいたします。各専門部会報告については、委員の皆さんにより分かりやすくお伝えするというを目的に、事務局の方にプレゼンテーションを作成してもらい、修正を重ねて本日を迎えております。お手元の資料と前の画面を見ながら、慎重に審議いただきますようよろしくお願ひいたします。

(事務局)

ありがとうございました。続きまして、多可町教育委員会教育長岸原がご挨拶を申し上げます。

(教育長)

皆さん、こんばんは。本日はお疲れのところお集まりいただき、本当にありがとうございます。先ほど杉山委員長の挨拶にもありましたように、各専門部会におきまして、何度も部会を開催いただき、着々と協議を進めていただいておりますことに心から感謝を申し上げます。3小学校におきましても、子どもたちが自分たちの学校に感謝する心を養うように、最後の1年間、学校をあげて取り組んでいただいていると聞いております。また、子どもたちが新しい小学校に向けて、夢と希望を持てるよう色々と考えていただいております。本当にありがたいと感謝しております。教育委員会としましても、統合準備委員会の委員の皆様方のお力をお借りしながら、子どもたちにとって、保護者にとって、そして地域にとって「統合してよかったな」と思っただけけるよう力を入れて取り組んでいきたいと思っております。どうか、今後ともよろしくお願ひいたします。

(事務局)

ありがとうございました。当委員会は、委員の過半数の出席が成立の条件となっております。規定に基づき、本日の委員会は成立しております。ここで、本日の配布資料を確認します。お手元の資料をご覧ください。資料は3点でございます。傍聴の方も含めてお配りしております。不足の資料がございましたら、事務局にお申し付けください。

この後の議事進行は、杉山委員長にお願いしたいと思います。それでは杉山委員長、よろしくお願ひいたします。

(杉山委員長)

それでは審議に先立ちまして、本日の統合準備委員会の公開・非公開について、委員の皆さんにお諮りしたいと思います。本日の傍聴希望者は1人です。統合準備委員会は、その趣旨からも原則公開としておりますが、個人に関する情報を取り扱う場合や意思決定過程における情報などで公開することにより混乱を生じる恐れがある内容など、委員の過半数が認めた場合は部分的に非公開とすることとしております。

本日の統合準備委員会につきまして、公開で開催したいと考えますが、いかがですか。ただし、審議の途中において、非公開事項に該当するような内容となった場合には、傍聴者の方に一時退出していただくこととします。異議がなければ公開として協議に移りたいと思っております。

3 専門部会報告

(杉山委員長)

続いて各専門部会からの報告および審議に移ります。まず総務部会長から報告をお願いします。

① 総務部会

(部会長)

部会の開催状況ですが、第7回部会を1月27日(火)、第8回部会を3月11日(水)、第9回部会を4月22日(水)に開催しました。なお、第10回部会につきましては、7月頃の開催を予定しております。協議の内容につきましては、体操服・校章・校歌の作詞、作曲・3小学校のメモリアル映像・卒業記念制作等の取扱いについて、協議を行いました。

最初に、体操服等について報告いたします。こちらは、12月の統合準備委員会で承認をいただいたところですが、その後、色の変更について、各部会で報告、了解をいただいております。当初、エメラルドグリーン色の体操服で決定していましたが、これを濃紺色の体操服に、色のみを変更しております。すでに、今年の春に入学した児童から、この新しい体操服を着用しているところです。ご理解をいただきたいと思っております。

校章につきましては、前回の統合準備委員会で10候補を報告させていただきました。その後、1月に、児童、保護者、教員等を対象にしたアンケート調査を行い、5候補を選考いたしました。その5候補から、総務部会において、最優秀作品(つまり、採用作品)を1点、優秀作品を2点選考しております。最優秀作品は、神奈川県横須賀市在住のグラフィックデザイナー/奥野和夫さんのデザインを選んでおります。

デザインの趣旨ですが、多可町の町鳥「キジ」と天高き「大空」で、八千代の「や」の字を描き、小学校の「小」の文字を配した町花「ささゆり」を組み合わせたデザインとなっており、子どもたちの成長と大空に羽ばたこうとする姿とを重ね合わせ、地域(ささゆりに象徴)がその成長を見守る様子を表現したものです。

校章の選定理由ですが、八千代地域を象徴する「キジ」「ささゆり」「澄み渡る青空」の三要素が融合して、八千代の「や」の字を形成する洗練されたデザインであること、左右対称形でない独創的なデザインであること、大空に飛び立つがごとく、未来に向けて、希望をもち前進している子どもたちの様子が、新しく開校する八千代小学校の校章としてふさわしいとの理由から、総務部会ではこのデザインを選びました。優秀作品には、次の2つのデザインを選考しております。

校章決定のプロセスについては、平成26年11月26日に第1次審査を行い、10候補を選定しました。その後、平成27年1月に児童、保護者、教職員等を対象にアンケート調査を行い、5候補を選考しました。1月27日に、第3次審査を行い、最終候補を選びました。本日の統合準備委員会で皆さんに承認いただき、最終決定となります。よろしくお願いたします。

続いて、校歌の歌詞について報告します。2月1日～4月10日までの約2ヶ月間、広く全国公募を行いました。応募があるのか、少し心配をしていたのですが、町内から14点、町外から49点、合わせて63点もの素晴らしい作品が寄せられました。多可町出身者からも、多数応募いただき、本当に感謝しております。審査にあたっては、どれも力作揃いで、選考の方もとても難航したところですが、次の3点を選考しております。

まず、最優秀作品(採用作品)には、東京都世田谷区在住の保岡直樹さんの作品を選考しております。お手持ちの資料、3ページをご覧ください。

やすおかな おき
保岡直樹さん（東京都世田谷区在住）

1 おひさま^{みどり}いっばい 緑^{みどり}を^{みどり}てらし
きょうも^{きぼう}希望^{あさ}の 朝^{あさ}を^よ呼ぶ
あか^{あか}明^{あか}る^{あか}い^{あか}あい^{あか}さつ^{あか} はず^{かぜ}む^{かぜ}風^{かぜ}
みんな^{げんき}元^{げんき}気^{げんき}だ なか^{げんき}よ^{げんき}し^{げんき}だ
えが^{えが}お^お笑^{えが}顔^おひろ^{えが}がる^お 八^や千^ち代^よ小^よ学^よ校^よ

2 は^はな^なさ^な花^は咲^なく^なさ^なさ^なゆ^なり^な より^あそ^あい^あ合^あっ^あて^あ
き^きよ^き清^きく^きや^きさ^きし^きく^き か^まお^まる^ま町^ま
う^うや^やま^や お^おし^しえ^し う^う敬^う ^おし^しえ^しを^う 受^うけ^うつ^うい^うで^う
こ^ころ^ろ と^と知^ち識^し み^みが^みこ^こう^こよ^こ
い^いの^のち^ち輝^かく^か 八^や千^ち代^よ小^よ学^よ校^よ

3 ひ^ひかり^{かり}光^ひをつ^ひか^{かり}ん^{かり}で^{かり} 伸^のび^のゆ^のく^のヒ^ひノ^のキ^の
とり^{とり}鳥^{とり}も^{とり}さ^{とり}え^{とり}ず^{とり}る^{とり} す^すこ^すや^すか^すに^す
み^みらい^{らい} お^おお^おぞ^ぞら^ら に^にじ^じ未^み来^{らい}の^に大^{だい}空^{くう} か^かけ^かる^か虹^{こう}
む^むす^すぶ^ぶ友^{ゆう}情^{じょう} い^いつ^いま^まで^でも^も
ゆ^ゆめ^め は^は 夢^ゆが^め羽^はば^はたく^は 八^や千^ち代^よ小^よ学^よ校^よ

選考理由ですが、地域を象徴する「ささゆり」「ひのき」を織り込みながら、子どもたちの夢、希望、友情、飛躍をさわやかに描いているということ、敬老の精神を受け継ぐ町として、守り続けたい郷土の誇りをはぐくむ精神（おしえ）が歌われているということで、総務部会では、こちらの作品を選ばせていただきました。なお、優秀作品には、北海道札幌市在住の朝倉修さん、愛知県あま市在住のなかむらまさみさんの2作品を選考しています。本当に、いずれもすばらしい作品で、頭を悩ますほどでした。後ほど、お手持ち資料4ページ、5ページをご覧ください。校歌決定のプロセスですが、平成27年4月10日に第1次審査（事前審査）を行い、4月22日に第2次審査を行い、最終候補を選考しています。校歌の歌詞も本日の統合準備委員会で皆さんに承認いただき、最終決定となります。よろしくお願いいたします。

校歌の作曲にあたっては、八千代区大和出身の尾崎克典氏にお世話になりたいと考えています。尾崎氏は、キッズランドやちよが開園する際に、キッズ園歌の作曲にも携わっていただいております。この度、八千代小学校の新たな出発に向けて、ふるさとの子どもたちのために、何かお手伝いできたらと、校歌の作曲にも心強いお言葉をいただいております。尾崎氏の詳しいプロフィールについては、お手持ちの資料5ページに掲載していますので、ご覧いただきたいと思います。尾崎氏には、子どもたちにも、地域の皆さんにも、親しみやすい校歌に仕上げていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

次に、総務部会では、3小学校の閉校に合わせて「メモリアル映像（DVD）」を制作する方向で準備を進めています。具体的には、たかテレビの協力を得ながら、児童の歌声「校歌」に

のせて、思い出の校舎や学校行事など、閉校記念のDVDの制作を進めており、今年度末に完成する予定です。

次に、卒業記念制作等の取扱いについて報告します。全体的な方針として、卒業記念制作は、新小学校において写真データ及び映像データで保存することとします。また、新小学校内のロビー（1階）に、3小学校の歴史の一部を保管するコーナーを整備し、3校の校旗などを展示する方向で調整しています。卒業記念制作は、希望があれば卒業生に返還することを基本に考え、十分な周知期間と保存期間をとった後に、受取り希望がなかった卒業記念制作については、廃棄する方向で考えております。住民の方への周知については、「広報たか」や「たかテレビ」などを活用し、10月頃に実施したいと思っています。平成27年11月頃に同級生対抗ソフトボール大会が開催されるので、その頃に合わせて広報を行う予定です。

具体的に説明します。卒業記念制作等については、大きく4つに分けて考えております。

まず、卒業記念品ですが、これは、卒業にあたり、卒業生から学校への感謝を表すための贈呈品で、学校運営に役立つものが多いことから、使用可能なものは統合先の学校に引き継ぐことを基本とします。

次に、卒業記念制作ですが、これは、卒業にあたり、卒業生一人一人が、永遠の仲間意識を保ち、学校への感謝と思い出を長く留めるための共同制作品です。希望があれば、卒業生に返還することを基本とし、希望がない場合は、撤去・処分する方向で考えています。処分するまでには、十分な周知と保存期間を確保することとしています。返還・移管・撤去・処分の時期は、次のとおり考えています。

まず、八千代南小学校においては、統合前の小学校への思いが込められた作品であり、「新しい小学校」としてスタートするということから撤去することを基本とします。ただし、撤去が非常に困難なもの、撤去することで、既存の施設に影響が出るような場合は、随時、学校と調整を行いたいと思っています。時期的には、今年度、校舎改修時に撤去し、一時、別の場所で保管する方向で調整しています。希望者への返還・移管等は、学校閉校後となります。

八千代北小学校・八千代西小学校においては、統合前の小学校への思いが込められた作品であり、移設が困難、または移設・撤去費用が生じるものは、跡地活用が決まるまでの期間は、原則として現状のまま各小学校で保管することとします。ただし、移設や撤去に費用がかからない作品等については、八千代南小学校の卒業記念制作と同じ時期に返還・移管する方向で進めていきます。

次に、卒業記念樹ですが、これは、卒業にあたり、卒業生が学校への感謝と樹木の成長と共に思い出を長く留めるための植樹で、敷地的な問題等で移設が必要な場合を除いて、銘板のみを撤去し、命ある樹木は現状のまま保存することとします。八千代北小学校および八千代西小学校において、銘板撤去に費用がかかるものは、跡地活用が決まるまでの期間は、原則として現状のまま各小学校で保管することとします。

最後に、学校の歴史的な作品ですが、校旗や校歌、校章など学校の歴史的な作品については、新小学校もしくは地域の公民館などで保管する方向で調整します。移設に費用がかかるものは、跡地活用が決まるまでの期間は、原則として現状のまま、各小学校で保管することとします。

繰り返しになりますが、卒業記念制作については、この秋頃に、広報や各戸回覧などを活用しながら、地域の皆様に、十分に周知を図り、理解を得ながら進めたいと考えています。保存期間についても、状況を見ながら、十分な期間を設定したいと思っています。

今後の予定ですが、校歌の作曲などについて協議を行う予定です。以上、総務部会からの報告を終わります。

(杉山委員長)

以上、総務部会から報告がありましたが、何かご質問はありませんか。体操服の色変更については、昨年度末に、各部会場で承認をいただき、この4月入学の児童から、この体操服を着用しております。ご理解をいただきたいと思います。

校章について、児童や保護者、教職員などを対象にアンケート調査を実施し、地域の声も参考にしながら決定されております。先ほど、森川部長から報告いただいたこのデザインに決定してもよろしいですか。拍手でもってご承認をお願いします。

＝満場一致で決定＝

続いて、校歌の歌詞ですが、校章と同様に、町内外問わず広く公募され、63点もの応募をいただいております。総務部会で慎重に審査いただき、こちらの作品を採用候補に選んでいただいております。こちらに決定させていただいてもよろしいですか。拍手でもってご承認をお願いします。

＝満場一致で決定＝

校歌については、今後、作曲に取りかかることとなります。八千代区大和(柳山寺)出身の尾崎克典氏に作曲を依頼することです。尾崎さんにおかれましては、キッズランドやちよの園歌も作曲されており、八千代小学校の校歌の作曲についても、ふるさとの小学校ため、ぜひ校歌の制作に携わりたいと心強いお言葉もいただいております。統合準備委員会としても、尾崎氏に作曲をお願いするということでもよろしいですか。拍手でもってご承認をお願いします。

＝満場一致で決定＝

次に3小学校のメモリアル映像ですが、歴史ある3小学校の校歌について、大切に受け継いでいくことが重要です。今年度、たかテレビの協力を得て、3小学校の校歌にのせ、思い出の校舎などを映像にして残す方向で進んでおります。

続いて、卒業記念制作等の取扱いですが、今後、学校および教育委員会の方には、希望があれば、卒業生に返還することを基本に進めていただくこととなります。その都度、協議を要することも出てこようかと思えます。その際には、卒業生の思いなども十分に尊重しながら対応いただきたいと思えます。この方向で進めていただいてもよろしいですか。

＝満場一致で決定＝

それではよろしく願いいたします。総務部会で、引き続き、協議を予定されております「校歌の作曲」など、協議内容全般について、他の部に所属されている委員の皆さんから、何かご意見・ご提案などを、ぜひお聞かせいただければと思います。何かございませぬでしょうか。

特にないようですので、引き続き慎重な協議をお願いします。ありがとうございました。

② 通学部会

(部会長)

部会の開催状況ですが、第8回部会を1月21日(水)、第9回部会を2月16日(月)、PTA部会と合同で開催、第10回部会を4月28日(火)に開催しました。なお、第11回部会につきましては、6月3日(水)を予定しております。協議の内容につきましては、

大屋線の朝の2便運行、通学に利用するバス停、通学路の安全対策、バス通学訓練について、協議を行いました。

まず、大屋線の2便運行について説明します。大屋線は、バスは大型を予定しており、統合時の乗車想定児童数は、この3月に児童の転入により数名増えて74人となっています。

乗車テストの結果、安全に大型バスに乗車できる児童数は50人程度と判断し、乗車児童数が多い統合後数年間は、バスを2便に分けて通学するのが望ましいと考えております。

朝の登校時に、バス1台で往復2便を運行した場合、登校に要する時間は1時間以上かかることとなります。この場合、第1便で登校する児童は、午前7時30分までに学校に到着することとなり、学校の安全管理体制に問題が生じることとなります。

そこで、大屋線（大型バス・座席数32席）には、大屋、坂本、中村、横屋の合計54人が乗車することとし、八千代プラザ発・那珂ふれあい館行きの「のぎくバス」の運行経路を、下村まで路線を延伸し、これを通学に利用する方法を考えています。具体的には、下村、門田、赤坂の児童を乗せてから、八千代プラザ、学校前、那珂ふれあい館へと走行するイメージです。

この「のぎくバス」は、八千代プラザから、高校生が数名、多可高校への通学に利用しているため、八千代プラザ発の時間は変更せずに、バスの時刻を設定する予定です。下村、門田、赤坂と合計20人の児童が、この「のぎくバス」で八千代小学校に登校する方向で協議を進めています。

通学に利用するバス停ですが、原則として、路線バスの現行バス停を利用することとなります。また、乗降時における児童の安全確保、乗降時間の短縮等から、通学班で利用するバス停を統一する方向で検討しています。通学に利用するバス停については、各学校のPTAにお世話になり、統合時は、ある程度バス停を集約した方向で協議を進めています。

まず、大屋線ですが、大屋、宮ノ口、坂本、中村、横屋、下村、門田、赤坂を予定しています。大和線ですが、大和、上三原上、川上、局前、観音寺、原を予定しています。通学に利用するバス停については、6月に実施するバス通学訓練の結果も勘案しながら、引き続き、検討を進めます。

続いて、通学路の安全対策について、まず、1点目ですが、5月末までを目処に、各学校およびPTAの方に、通学路の危険箇所調査をお願いしています。調査の対象ですが、八千代南小学校では、赤坂については、バス停までの通学路、その他の徒歩通学のすべての地域については、学校までの通学路になります。八千代北小学校、八千代西小学校については、すべての地域がバス通学となるため、利用するバス停も想定して、バス停までの通学路について、調査いただくこととしています。調査にあたっての注意事項としては、次の2点です。1点目は、登校時、いったんどこかに集合してから揃ってバス停まで移動するのか、もしくは、各自でバス停まで移動するのか等も勘案して、学校ごとに危険箇所を抽出すること、2点目は、新たな交通安全施設（道路改良や横断歩道等）については、年度内又次年度以降の整備が困難である場合も想定されるので、原則は現状を勘案して通学路を検討することとします。

また、通学路の危険箇所対策の今後の流れですが、5月末を目処に、各学校から教育委員会に報告していただき、町教育委員会、生活安全課、建設課等で現地調査・協議、検討を行ってまいります。対応としては、児童・保護者への注意喚起、見守り協力隊への活動依頼など学校やPTAなどで対応いただくもの、次に、町道路管理者、町関係機関へ対策を依

頼るもの、次に、県道路管理者へ対策を依頼するもの、次に、横断歩道の設置など、警察（公安）等へ対策を依頼するものとなります。横断歩道の設置などは、所轄の警察署で現地調査を行い、県警本部から県公安委員会へ上申され、公安委員会が決定するため、相当の年数がかかる場合や道路環境、沿道環境により設置や規制に至らないケースもあると聞いております。このことから、原則は、現状の道路状況を勘案して通学路を検討していただく方向で調整しています。

続いて、バス添乗ですが、今年度を実施するバス通学訓練の結果等も勘案しながら、必要な場合は、子どもたちがバス通学に慣れるまでの期間は、保護者や教員によるバスの添乗なども計画したいと考えております。

次に、バス通学訓練について、第1回の通学訓練を、6月12日（金）朝と夕方に実施する予定です。今回の訓練は、平成28年4月学校統合時に、バス通学となる今年度の1～5年生を対象に実施します。八千代南小学校で5人、八千代北小学校で60人、八千代西小学校で40人合計105人を予定しています。

訓練の内容ですが、朝の登校時は、地域のバス停から八千代南小学校にバスで登校します。8時頃、八千代南小学校に到着し、いったん各小学校に戻って、通常授業を行います。

そして、下校時に、再度、各小学校からバスで八千代南小学校に移動し、バスに乗って下校し、各バス停で下車する予定です。

今回については「児童交流事業」は実施せず、バス通学訓練のみを実施します。通学訓練は、学期に1回ずつを予定しており、2回目、3回目実施時には、教育事務部会の方で、全校交流事業を計画していただく予定です。

今後の予定ですが、通学訓練の詳細について協議を行う予定です。以上で、通学部会の報告を終わります。

（杉山委員長）

以上、通学部会から報告がありましたが、何かご質問はありませんか。

（委員）

6月12日に開催される通学訓練の時は、八千代南小学校前のバス停はどこを予定されていますか。

（事務局）

学校東側交差点（信号）の所の広い空き地をお借りしてバスの乗降をするように学校長を通じて所有者の方に依頼しています。

（委員）

バス停を集約するという方針のもとで、八千代西小学校PTAでは、各集落バス停を2箇所を集約するよう保護者にお願いをしました。保護者の中には近いところからバスに乗りたいという意見もありました。大屋線と比較すると、大和線の方が利用するバス停が少ないように思います。中三原と柳山寺については児童数が多いこと、集落の距離も長いことを考えると、現状のバス停2箇所を3箇所に増やすなど調整が必要ではないかと思えます。

（部会長）

中村バス停と横屋バス停については200mしか離れていないことから、この2つのバス停を1つに集約する方向で調整をしてきました。しかしながら、1つに集約した場合、児童数が25名と大人数になること、また中村バス停が非常に狭く25人もの児童が待機できる

スペースが確保できないことから、安全面を最優先に中村バス停と横屋バス停を分ける方向で考えております。

また、下村バス停と横屋バス停については、朝の登校時、大型バスで通学するのか、のぎくバスで通学するかということが関係してきます。統合時のバス利用児童数を考えると、横屋の児童が下村の児童と一緒にのぎくバスで通学した場合、のぎくバスに乗車する児童が多くなり、安全な通学に支障が生じると考え、下村バス停と横屋バス停は分けることとしました。6月12日の通学訓練については、現状の案で実施し、何か問題等が生じた場合、必要に応じて見直すということでご理解いただきたいと思っております。

(杉山委員長)

通学訓練後に、その実施結果なども勘案して再検討するということでよろしいですか。

(委員)

はい。よろしく申し上げます。

(委員)

各集落のバス停までは、通学班でいったんどこかに集合してから各バス停に向かうのか、若しくは、それぞれでバス停に向かうのか。安全面から考えると、いったんどこかに集合してからバス停に行く方が良いように思いますが、いかがですか。

(杉山委員長)

そのことについても、通学訓練の結果を勘案して協議を行うこととします。大屋線については、乗車人数が多いここ数年は、朝の登校時は、増便の大型バスとのぎくバスを利用して登校する方向で調整いただいております。今後、バス通学訓練などを通して、課題など具体的に協議を進めていただきたいと思います。

通学に利用するバス停については、各小学校のPTA役員の皆様にも協力いただき、このように調整いただいております。先ほどもご意見がありましたように、今後、バス通学訓練なども通して、課題など具体的に協議を進めていただきたいと思います。

通学路の危険箇所調査についてですが、5月末までを目処に、3小学校とそれぞれのPTA役員が中心となって、危険箇所を調査いただきます。学校から報告された危険箇所については、町で現地調査も行いながら、対応を検討いただくこととなります。先ほど、報告にもありましたように、横断歩道の設置や道路改良については年度内、次年度以降の整備が困難となる場合も想定されます。そのあたりも勘案して、通学路を検討くださいますようよろしくお願いいたします。

子どもたちがバス通学に慣れるまでの間は、大人がバスに添乗するかどうかについては、今年度を実施する3回の通学訓練の結果なども勘案しながら、計画していただくこととなります。よろしくお願いいたします。バス添乗について、学校の協力も得るということですが、先生方のバス添乗などはいかがでしょうか。

(部会長)

最初の1～2週間、職員の協力を得てバス添乗を計画するようにします。

(委員)

キッズランドの代表として、発言させていただきます。平成29年度以降、俵田集落の児童が1名となり、俵田から川西までの区間が児童1人での通学となります。現在は、見守り隊の方にお世話になりながら通学されているようです。見守り隊の方もご高齢ということで

防犯の面から保護者の方が非常に心配されています。距離4km、通学時間60分というバス通学の基準も必要だと思うのですが、何か柔軟な対応など通学部会で協議いただけないでしょうか。一度、通学部会で協議いただき、保護者の方に回答していただきたいと思います。

また、一般の方が気軽に質問できるように、ホームページなどで質問コーナーを設けた方がいいのではないのでしょうか。

(杉山委員長)

統合準備委員会では、まずは平成28年度統合時に向けて協議を進めていくこととなります。今後さまざまなケースや特別な事情なども出てくると考えており、時々々の社会情勢を考えて臨機応変に対応していくことも必要だと思います。

なお、ホームページなどで質問コーナーを設けることについては、事務局で前向きに対応いただきたいと思います。

(委員)

地域の方は、小学校統合後はどこに質問をすればいいのですか。

(杉山委員長)

八千代小学校やキッズランドやちよ、学校教育課の方に質問してもらうことになります。

(事務局)

本年度、多可町として、バス通学についての方針を策定する予定です。加美区のバス通学の現状や中区の徒歩通学の状況など、夏ぐらいまでには町として統一の方針を検討したいと考えています。

ホームページ上の質問コーナーについては、設置する方向で検討したいと思います。

(杉山委員長)

ありがとうございました。それでは、通学部会におかれまして、今いただいたご意見や提案等も参考にいただき、引き続き、慎重な協議をお願いします。続いて、PTA部会・岸本部長から報告をお願いします。

③ P T A部会

(部会長)

それでは、PTA部会からの報告をさせていただきます。まず、部会の開催状況ですが、第9回部会を1月19日(月)に、第10回部会は通学部会と合同で、2月16日(月)に開催しました。続いて、第11回部会を3月3日(火)に開催しました。

また、円滑な統合を進めるためには、これまで以上にPTA部会と3小学校PTAとの連携が重要であるとの認識から、PTA部会委員と今年度の各校正副会長及び教頭先生をメンバーとする「PTA連絡会」を必要に応じて開催し、意思疎通を図りながら進めることとしました。その第1回のPTA連絡会を、4月23日(木)に開催しました。なお、第13回部会につきましては、5月26日(火)に予定しております。

まず、PTA役員の選出方法について報告します。第3回統合準備委員会で報告しました学級委員選出に係る除外規定に加えて、下記の通り正副会長選出に係る除外規定も決めました。

次に、PTA会計について報告します。八千代区の3小学校、八千代中学校、キッズランドやちよは、教育の振興を図ることを目的として、毎年、各集落から助成金をいただいております。そのおかげで、大変充実したPTA活動を継続することができております。本当にありがとうございます。

八千代小学校PTAへの助成金については、平成27年3月3日開催の「平成26年度第9回八千代区区長会」に諮り、各集落より「1戸あたり400円」の助成金をいただくことで了承をいただきました。なお、一般会計や特別会計の運用等については、今年度の3小学校の運用状況を見据えながら、八千代小学校での会計運用について協議していきます。

続いて、PTA規約、慶弔規定について報告します。区長様のPTA役員就任についても、助成金同様に平成27年3月3日開催の「平成26年度第9回八千代区区長会」にお諮りしました。その結果、各集落の区長様（15名）は、「参与」に就任いただくこと、また、区長会長様（1名）は「会計監査委員」に就任いただくことで了承いただいております。

各集落の区長様には、今後とも様々な面でご支援ご協力をいただくことと存じますが、どうぞよろしく願いいたします。

今後の予定については、引き続き、PTA会計、規約、慶弔規定、地区水泳等について協議を進めていきます。また、必要に応じて通学部会との合同会議やPTA連絡会を開催し、円滑な統合が進むように連携を図っていきたくと考えています。これで、PTA部会からの報告を終わります。

（杉山委員長）

以上、PTA部会から報告がありました。ご質問はございませんでしょうか。平成29年度以降に適用される「正副PTA会長」選出にかかる除外規定について、何かご意見等ございませんでしょうか。

各集落からの助成金については、事務局の方で、区長会と協議をしていただき、「1戸あたり400円」で、引き続き、統合小学校にも助成金をいただくことに決定したようです。

また、区長さん方には、統合小学校の役員「参与」にもご就任いただくこととなっております。区長さん方には、引き続き、統合小学校でもお世話になりますが、どうぞよろしく願いいたします。

初代PTA役員の皆さんには、何かと大変なご苦勞もあろうかと思いますが、助け合いながら、新しい学校づくりに関わっていただきたいと思います。PTA部会の皆さんには、そういったPTA組織の風土醸成に向けて、引き続き、調整をいただきたいと思います。

PTA部会で、引き続き、協議を予定されております内容全般について、他の部に所属されている委員の皆さんから、何か参考となるご意見・ご提案などをお聞かせいただければと思います。何かございませんでしょうか。

（委員）

今年度、八千代南小学校ではプールが使えない状況となります。夏休み期間中の地区水泳をB&Gプールで行う予定で調整しています。校区内の児童は自転車でB&Gのプールに集合することとなりますが、ガルテン八千代への入り口交差点が危険なため、PTAで交通立番を行う方向で調整しています。また、地区水泳の期間は5日間の予定で、今年度の地区水泳の実施結果などはPTA部会に報告したいと思っています。

（杉山委員長）

その他ご意見・ご提案などをお聞かせいただければと思います。何かございませんでしょうか。

特にないようですので、引き続き、慎重な協議をお願いします。続いて、教育・事務部会・小林部長から報告をお願いします。

③教育・事務部会

(部会長)

部会としましては、第5回部会を4月9日に開催しました。なお、領域部会・教科部会につきましては、不定期ではございますが、随時、必要に応じて開催しています。

教育・事務部会での協議事項は、閉校記念事業実行委員会、3校交流学习、学校設備、図書・備品についてなどです。

まず、閉校記念事業実行委員会について報告します。閉校までの最後の1年を思い出に残る1年にしていこうということで、小学校ごとに閉校記念事業実行委員会を設立しました。

八千代南小学校は5月7日、八千代北小学校は5月18日、八千代西小学校は5月13日に、それぞれ第1回実行委員会を開催しております。構成員ですが、PTA会長・副会長、校区の区長、婦人会支部長・副支部長、消防分団長、有識者、校長・教頭など、各学校によって10～15人程度の構成員となっています。

事業としては、閉校記念式典、イベントなどの閉校記念行事、閉校記念誌、その他目的達成に必要な事業としております。また、実行委員会に3つの専門部を置き、それぞれ業務を担当することとしています。まず、総務部ですが、寄付金の募金活動や卒業生名簿の作成、予算・決算書の作成を担当します。式典・記念行事部では主に閉校記念式典（教育委員会主催）および閉校記念行事の企画立案を、記念誌部では主に記念誌の企画立案を担当します。

次に会計ですが、町補助金、寄付金、PTA特別会計、その他収入を充てる予定です。なお、残金が生じた場合には、統合小学校のPTA会計に寄付することとしています。

閉校記念誌の構成内容については、3校で調整、連携を図りながら、各実行委員会を中心に検討していきます。現在のところ、校舎写真、航空写真、校旗・校章・校歌、あいさつ（閉校に寄せて）、学校沿革、歴任教職員名簿、歴代PTA会長・副会長、児童数の推移、卒業生名簿、在校生名簿、卒業アルバム、思い出のアルバム、在校生のこぼれ話、閉校式の様子などを予定しております。

続いて、3校交流学习について報告します。今年度の3校の交流学习については、例年実施している学年ごとの3校交流学习にプラスして「全校生交流学习」を開催する予定です。2学期以降に、八千代南小学校に、八千代北小学校と八千代西小学校の児童が集まって、平成28年度以降と同じ状況で全校生交流を計画したいと思っています。学年ごとの児童交流については、3校の児童を分けてグループを編成するなど児童の交流がより深まるよう計画します。

また、学校備品等の有効活用を目的として、学校設備、図書・備品等について協議を進めています。昨年度末までに3校の現有備品を精査し、統合小学校で使用する設備や図書、教材備品等について備品等整理計画（案）を策定しております。今年度は、夏休みなどを活用しながら統合小学校への引っ越しに向けて「備品等移動計画」を作成する予定です。統合小学校で活用しない備品等については、町内の他の学校等で有効に活用されるよう教育委員会と調整を行っていきます。

今後の予定について、2学期、3学期に開催する3校交流学习（全校生交流）の内容等について協議を行います。また、通学部会と連携を図りながら、通学安全対策について協議を行います。以上で、教育・事務部会の報告を終わります。

(杉山委員長)

以上、教育・事務部会から報告がありましたが、ご質問はございませんでしょうか。先ほ

ど、小林部長からの報告にもありましたように、3小学校ともに、この5月に、それぞれ閉校記念事業実行委員会を立ち上げていただいているようです。今年度末の閉校に向けて、最後の一年となります。地域の誇りである小学校が閉校することになりますが、いつまでも皆様の心に居続け、その歴史や思いは、新しい八千代小学校に受け継がれるよう、素晴らしい1年にしていきたいと思えます。どうかよろしくお願ひいたします。

3校交流学習について、効果的に交流が図れるように、色々と工夫いただいているようです。よりスムーズに統合できますよう、よろしくお願ひいたします。全校生交流について、今後、内容等を計画されるようです。何か参考となるご意見・ご提案などを、ぜひお聞かせいただければと思えます。何かございませんでしょうか。

教育・事務部会で協議を予定されておりますさまざまな協議内容全般、また新しい小学校への期待なども含めて、他の部に所属されている委員の皆さんから、何かご意見、ご質問などございませんか。引き続き、慎重な協議をよろしくお願ひします。

以上で、すべての部会からの報告が終了しました。全般を通して、何かご質問・ご意見等はありませんでしょうか。

(委員)

統合後の学校づくりについては、3校の伝統を大切に引き継ぎ、魅力ある新しい学校づくりに取り組むと伺っています。子どもたち、保護者、地域の方が、「統合して良かった」と思える学校づくりに向けて、今のところ、教育委員会では、どのような取り組みを考えていらっしゃるでしょうか。

(教育長)

統合に伴い児童数が増え、統合当初は全ての学年で2クラスとなります。これはクラス替えができる規模の学校になります。

魅力ある学校づくりに向け、中学校教員の乗り入れ授業を増やしていきたいと思っています。八千代区では、小学校・中学校がそれぞれ1校となります。今年度、試行的に県教育委員会の許可を得て、社会と英語活動について、中学校の教員が小学校で授業を実施しています。具体的には、6年生のすべての社会の授業を中学校の教員が担当しており、小学校から中学校にうまく繋いでいきたいと考えています。また、5、6年生の英語活動についても、中学校の教員とALTと一緒に小学校で授業を担当しています。教育委員会では、小学校から中学校への接続をより円滑化する必要性を認識しており、統合に向けて小中連携を模索したいと考えています。来年度以降、どの教科でどのように広げていくのか、またどの教科においてより効果があがるのかなど今年1年で模索、検証したいと考えております。より魅力ある学校づくり、授業づくりを考えていきます。

また、学校が統合することで子どもたちがどのくらいストレスを感じるのか、少人数から大人数になることで気後れしてしまう児童も考えられます。このことについては、統合後数年間は、スクールカウンセラーを設置するなど、子どもたちの心のケアにも十分配慮したいと考えております。

(杉山委員長)

先ほど、教育長からの統合後の魅力ある学校づくりについて具体的に説明いただきましたが、このことに関連して何かご質問等ございませんか。また、全体を通して、何か質問、ご意見等ございませんか。

特にないようですので、次第の4「その他」に移ります。事務局（教育総務課）より、学校前のバス停、プールについて、説明をいただきます。よろしくお願いします。

（事務局）

＝資料に基づき、学校前バス停・プールについて概要説明＝

（杉山委員長）

今の説明を受けて、何かご質問などありませんか。

（委員）

プールの件ですが、学校授業についてもB&Gプールを使う方向で検討されていますか。その場合、水泳の授業を毎日実施することが難しいように思いますが、暑い間の授業に何か影響等が生じないでしょうか。

（委員）

今年度、八千代小学校では、例年よりスタートを早め6月15日頃から水泳授業を開始します。今のところ、昨年同様の授業時数17日を計画しています。中学生もB&Gプールを利用していますので、利用が重複しないよう中学校と調整をしております。プールへの移動手段ですが、町のスクールバスや民間のバスなどを利用する予定です。プールまでの往復のバス乗車時間については、体育の授業には含めず、学校行事の時間として計画しています。

（杉山委員長）

プールの場所が変わっても、大きな影響は生じないという理解でよろしいですか。

（委員）

今のところ影響はないと考えておりますが、今年度の実施結果を十分に検証したいと思っています。

（委員）

夏休み期間中の地区水泳については、どのように考えておられますか。また、B&Gプールまでのバスについてはどのようにお考えですか。

（事務局）

統合後の地区水泳のあり方については、B&Gプールまでのバス運行のことも含めて、今後、具体的に協議を行う予定です。

（事務局）

今年度の八千代南小学校での実施状況等を十分検証して、統合後のプールのあり方を検討したいと考えています。子どもたちに危険が生じるということはないよう進めたいと考えています。

（委員）

夏休み期間中の地区水泳をなくすという考えはないのでしょうか。

（部会長）

八千代南小学校区の児童は自由にB&Gプールに行けますが、八千代北小校区、八千代西小校区の児童は、自分たちだけではプールに行くことができない状況になります。そのことも十分に配慮する必要があると考えております。

（事務局）

統合後の夏休みの地区水泳について、どのような形で実施するのか、実施方法やバスのことも含めて、今後、PTA部会で協議を行うことを予定しています。

(委員)

区長会としては、閉校・統合・跡地活用とトータルで協議、検討を進めていきたいと考えています。また、八千代区の小学校統合については、他の地域の区長さん方も非常に興味を持たれており、八千代区の小学校統合が、全体のモデルとなっていくように思っています。スムーズな統合に向けて、地域あげて全面的にバックアップしていきたいと考えています。

(杉山委員長)

区長さん方にはお世話になりますが、どうぞよろしく申し上げます。何かご質問などございませんか。

(委員)

以前、学校施設整備について、洋式トイレの設置やトイレの増設などの要望がありましたが、そのことについては改修計画に反映されていますか。

(事務局)

洋式トイレや多目的トイレの設置など、洋式トイレの設置については反映しています。スペース的な問題から、トイレの総数については若干少なくなっております。

(杉山委員長)

他に何かご質問などございませんか。

特にないようでしたら、次回の日程に移ります。次回の統合準備委員会ですが、各部会の進行状況を勘案しながら、統合までに少し余裕をもって開催したいと考えており、10月から11月頃を予定しています。継続協議の内容もまだ残っておりますので、第5回統合準備委員会までの期間、各部会におかれましては、協議終了となるよう積極的かつ慎重な議論をお願いいたします。それでは、閉会の挨拶をお願いします。

5 閉会

(部会長)

本日は長時間にわたり慎重に審議いただきありがとうございました。今年の第1回統合準備委員会が開催されてから丸1年が過ぎました。この一年間、充実した協議を行っていただきました。統合まで残り1年を切りましたが、今後とも内容の濃い協議をお願い申し上げ、第4回八千代区小学校統合準備委員会を終了いたします。遅くまでありがとうございました。